

令和3年度の教育活動の終了を見据えて

令和4年の年が始まって、早いもので、もう3月となりました。オミクロン株による新型コロナウイルス感染症の対応においては、学校だけの対応ではなく、幼稚園や保育園、職場等の状況に応じて、様々に大きな影響を受けており、対岸の火事ではなく常に自分事としての対応となっています。世の中が様々に重なり合い、連携し合っているからこそその状況であり、改めてつながりの深さを実感させられる対応ばかりです。

また現在、本校においては、学年休業等の対応をしながら、子供たちの学びを止めないために、感染症の対策を更に徹底していく上で、予定していた取組を様々に検討し直し、日程変更や中止、学級間の交流活動の制限など、学級主体の活動に切り替えて取り組んでいます。急な変更や対応のお願いとなり、申し訳ないところです。子供たちが安心して登校できるように、引き続き様々に対応してまいりますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

さて、令和3年度の教育課程においては、コロナ禍ではありましたが、様々に取り組むことができました。主なものを挙げてみると、令和3年度始業式 入学式 ・午前中開催の運動会 ・学年を絞った引き取り訓練 ・学芸会を変更して行ったオータムフェスティバル ・人数制限の下での授業参観 ・延期で日程変更した6年生の日光移動教室 ・野外宿泊体験の代替行事である5年生の校外学習 ・桜守りの校外学習 ・密を避けるオンラインでのわくわく発表会 ・バスを使用した社会科見学等々。

この他にも、現在の状況で実施可能な取組を検討し、智恵を出し合い、工夫した手立ての下に様々な学年・学級活動や学習活動を実施してまいりました。

P T Aや保護者の皆様、学校評議員の皆様、見守り会をはじめとする地域の皆様のご協力をいただき、ご理解していただいたことにより、令和3年度の学校運営をここまで行うことができました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして、令和3年度における最後の行事である修了式・卒業式に向けて、日々の学校生活を落ち着いて過ごしていくことができるよう、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。



校長室から望む夕焼けの富士

ガイドライン変更に伴って

先日、「学校で児童・生徒や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドライン(国立市第2版)」の改訂版を配布させていただきました。オミクロン株への対応に伴い、保護者の皆様との適切な情報共有を行ってまいりたいと思いますので、よくご確認ください。

特に、その中で、メール配信の変更点について、お伝えしておきたいと思います。

今回の改定では、「当該校には、必要に応じて学校からお知らせいたします。」となっています。これまでは、「当該校には、お知らせします。」という文面で、教育委員会からの配信が中心であり、皆様もご存知の通り、オミクロン株における対応においては、教育委員会のメールが多数配信されているところです。そのため、学校配信のメールも加えると、非常に多くのメール数となると共に、どのメールが保護者の皆様に必要な内容であるのかが、なかなか分かりづらくなっていました。

必要に応じて、学校から配信できることになったことにより、直接的に保護者の皆様に情報提供ができる幅が広がりました。また、必要な内容を配信したい学年や学級、時には、学校全体に対して等、的確に情報伝達することができる内容となっています。

今回の学年閉鎖や学級閉鎖における時点では、ガイドラインが改訂される前後の対応となったため、対応の違いが出てしまいました。これからは、これまでと同様に教育委員会と学校がしっかりと確認をして上で、学校配信する内容を整った形式でお伝えしてまいります。

また、これまでと同様、人権尊重・個人情報保護においても配慮してまいります。ガイドラインの改訂におけるその他の対応についても、ご理解の程、よろしくお願いいたします。



令和4年度の教育課程から



令和4年度における教育活動の基本的方針や内容を検討し、教育委員会に提出をする教育課程を編成いたしました。この場において、簡単にお知らせいたします。

◎本校の教育目標 「かしこく やさしく げんきよく」 <変更はありません>。

- ・これまでと同様に、この3つの目標を目指し、教育活動を展開してまいります。

◎今年度までの重点目標 「かしこく」から「やさしく」に変更しました。

- ・令和3年度までの重点目標「かしこく」を発展的変更として、令和4年度から「やさしく」にします。
- ・自らを大切にす思いや相手を認める思い、そして、自ら何事にも挑戦する意欲や未来に夢や希望をもって生きていこうとする意志を育てていきたいと思ひます。
- ・本校で取り組んできた「かしこく」における取組を土台として、心の教育の充実を目指します。
- ・学校内で研究してきた、これまでの「国語」の授業研究を活かしながら、「道徳」の授業研究に取り組みます。
- ・特別支援学級「くるみ学級」、特別支援教室「はばたき」、特別支援学級「きこえとことばの教室」についての理解や啓発を図り、心のバリアフリーを目指します。

◎学校行事において、開校50周年記念行事の冠を付けて、実施してまいります。

- ・50周年記念式典や開校記念の集会、運動会や展覧会等においても、50周年記念行事として実施していきます。

◎「ことばの教室」の名称が「きこえとことばの教室」となります。

- ・この4月より、難聴に対応した「きこえの教室」が開設され、「きこえとことばの教室」となります。
- ・通級による指導を行います。

◎運動会の日程を「春から秋に」変更しました。

- ・入学及び進級した児童が落ち着いた学校生活を送りながら、学年や学級に慣れることや安全で安心な居場所づくりが行えるように、運動会の日程を秋へと変更しました。

◎土曜授業日において、振替休業日の設定をできる限り行いました。

- ・児童の生活リズムを崩さないようにすることや、体調管理の下で健康に過ごせるように設定しました。

以上の内容以外にも、様々な取組を設定し、子供たちが、かしこく生き、やさしく育ち、げんきよく活動していくことができる力を身に付けさせていく教育活動を展開してまいります。

校長のつぶやき



過日、私の家族が体調を崩して、PCR検査を受けました。結果は陰性でしたが、結果がでるまでの間、検査日を含めて3日ほどかかりました。

教員という私の仕事のこともあり、完全に隔離するように努めました。家の中においてもマスクを外さず、それぞれが時間をずらして食事をしたり、部屋の換気を常に行うようにしたり、ドアや入口のところの消毒、家族が一緒にいる時間を少なくするため、いつもの生活時間よりも早く眠ること等々、もし陽性であっても、家族内に大きく広がらないように努めました。結果的には、陰性ではありましたが、各ご家庭においての様々な取組や感染された方々の大変さ、その周りの家族の方々のご苦労を少しではありますが、感じることができました。

本校の学校医の七条先生からも、「寒いだろうけれど換気をする事」、「少しでも体調の悪い時は、仕事や学校を休むようにすること」等、その他にも多くの留意点を教えていただきました。

本校の子供たちはもちろんのこと、本校の教職員のことも気にかけてくださり、最後に、「共に頑張りましょう！」との励ましの言葉に元気をいただきました。

思いを共有した言葉に心の温まる時間となりました。